

Roadmap to Carbon Neutrality by 2050

2022年7月現在

取組み方針

カーボンニュートラルの実現を目指す取り組みが、本学のさらなる発展と持続可能な社会の実現に寄与する機会として捉える。

達成目標

教育・研究機関の特性を活かした人材育成と新技術の創出によって、多角的に地球環境の保全に貢献する機関として社会から認知される存在となる。

■社会全体のカーボンニュートラル達成に貢献できる人材育成と研究活動を促進する。

学生、生徒、教員、職員といった構成員全員が環境に配慮した行動をとれる。
学内の環境保全に関する知見を融合させ、環境問題解決に向けたアドバイスや技術提供ができる。

■社会、地域との連携を図り、カーボンニュートラルに向けた社会活動を支援する。

構成員全員が、環境保全に関する知識のインプットにとどまらず、それぞれの立場(学生・生徒・教員・職員)から実社会でどのような行動を起こせるかについて考え、実行していくことができる。
(ボランティア、啓発活動、インターンシップ、産学官連携、大学間連携など)

■CO2排出量を2030年度には50%削減*1、2050年度にはカーボンニュートラルをめざす。

学内設備を環境配慮型に更新し、事業活動による排出を最低限に抑制する。
学生及び教職員の行動変容を促し、カーボンニュートラル達成に向けた機運を醸成する。

*1 Scope1、2の排出量を対象とし、社会環境変化、技術革新を勘案し、この数値は適宜見直すこととする。

Roadmap to Carbon Neutrality by 2050

2022年7月現在



* GHGプロトコル：国際的イニシアチブが作成したGHG（温室効果ガス）排出量の算定と報告の基準

Scope 1（直接排出量）：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

Scope 2（間接排出量）：他者から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

Scope 3（その他の間接排出）：Scope 1、2以外のその他の間接排出量すべて

* ロードマップは随時見直しを行います。



KANSAI UNIVERSITY